

目 次

- まえがき 竹内 潔（富山大学人文学部・准教授） p.1
- 研究組織とプロジェクトの概要 p.2
- アフリカ熱帯森林の狩猟採集民アカ人の野生植物利用
竹内 潔（富山大学人文学部・准教授） p.3
- なぜ〈釣り〉や〈家庭菜園〉は楽しいのか？
—人間・自然関係への新しい人類学的視角
松井 健（東京大学東洋文化研究所・教授） p.29
- 生業形態からみるコリャーク語とエスキモー語の語彙的接辞の比較考察
呉人 恵（富山大学人文学部・教授） p.31
- モンゴル医学と薬物
小松かつ子（富山大学和漢医薬学総合研究所・教授）
出口鳴美（富山大学和漢医薬学総合研究所・技術補佐員） p.39
- いかにしてアールヴェーダを現代に活用させるのか
—民族医療の知的潜在力をめぐる—考察
加瀬澤 雅人（京都大学東南アジア研究所・研究員） p.49
- 豊かな"古い"を求めて—本邦とアジアのフィールド医学の現場から—
松林公蔵（京都大学東南アジア研究所・教授） p.53
- 砺波散居村における子どもの遊び空間の世代間変化—南砺市飛騨屋の事例
大西宏治（富山大学人文学部・准教授） p.57
- 伝統知としての奄美シマウタの再構築：勝島徳郎・伊都子親子を例に
島添貴美子（富山大学芸術文化学部・講師） p.69
- グローバル化する先住民芸術—オーストラリア・アボリジニのアート
窪田幸子（広島大学総合科学研究科・准教授） p.77
- From 'Community through exclusion' to 'Marginalized and fragmented
community': The Aka forest foragers society in the Republic of the Congo
竹内 潔（富山大学人文学部） p.81
- Formalization of Customary Land Rights and Development Issues in Africa:
The Case of Tanzania's Village Land Act, 1999.
雨宮洋美（富山大学経済学部・准教授） p.89